

SON東京 ボランティア・オリエンテーションシート  
(プログラム)

2009年6月現在(09.06.05)

#2-1

プログラム名	バスケットボール
会場名	千代田(神田さくら館、江東特別支援学校など)
主任コーチ	河村 浩康
マネージャー	藤田 政弘
参加アスリート数	登録者約30人 毎回約10人参加
年齢構成	小学生(約6人)、中学生(約2人)、高校生(約5人)、社会人(約15人)
ボランティア数	約15人(うちファミリーが約8人) 毎回約8人参加
年齢構成	大学生以下(0人)、社会人・主婦(約11人)、シニア(約4人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	練習に参加されるボランティアは、アスリートと一緒に練習(練習指導の補助を含む)します。練習以外で参加されるボランティアは、受け付けや準備運動のときにアスリートケアをします。
競技指導のやり方	ジュニアクラスとシニアクラスの2つに分けて練習します。担当コーチは、その日に参加したアスリートに合わせて練習内容などを調整します。最近、特にアスリートの年齢、運動能力、体力が様々になっており、各クラスでも細かく分けて練習することが増えています。
既存ボランティアの競技レベル	バスケ経験者が8名位。バスケ未経験者も数名います。
既存ボランティアの参加頻度	ほぼ毎回参加の方、数回の参加の方などさまざまです。
希望するボランティアの経験レベル	経験・レベルは問いません。
ボランティアに希望するシヨブ、メッセージ	継続して参加できる方を希望します。また、練習に参加できる方も不足しています。アスリートと一緒に過ごした時間は、ボランティアにとっても有意義な経験になると思います。まずは、一回でもチャレンジしてみてください。
その他注意事項(服装など)	室内で運動できる服装と靴(バスケットボール用でなくてもOK)。

#2-2

プログラム名	バスケットボール
会場名	多摩
主任コーチ	石川 知奈美、副主任:山内 實、内田 和明
マネージャー	三上 真理
参加アスリート数	約20人/登録アスリート30-35人(うち重度障害約0人)
年齢構成	小学生(約5人)、中学生(約8人)、高校生(約8人)、社会人(約12人)
ボランティア数	約20人(固定メンバー/頻回参加のファミリー以外のボランティア約5人)、(ファミリーボランティア約13人)、サポートファミリー約2人
年齢構成	社会人・主婦(約16人)、シニア(約4人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	練習前から練習終了まで、ほとんどすべての練習時間帯にアスリートと混じって参加する。
競技指導のやり方	準備体操/フットワークは全員で、主任/副主任コーチの指導下で(必要に応じてアスリートのそばで個人的な補助)実施。ボールハンドリング(パス・ドリブル)、シュート、試合の練習はレベル別に分けて、各担当コーチの下、練習をおこなう。(練習の最後におこなっている、試合にはレベル別ですが、すべてのアスリートが参加します。(コーチのバスケットボールのレベルにあわせて試合にも必要に応じて、参加していただきます。))
既存ボランティアの競技レベル	バスケットボール経験者:4人(ボランティア)バスケットボール未経験者:16人(ボランティア、ファミリーボランティア/特にスポーツ経験のある父親の参加頻度が高い)

既存ボランティアの参加頻度	2/3以上:4人、1/2:6人、1/3以下:10人
希望するボランティアの経験レベル	参加意識、SOの理念に基づく活動を理解して、会場でのコーチの指示通り楽しく参加して下さる方であれば、バスケットボールの経験の有無・レベルは問いません。
ボランティアに希望するシヨブ、メッセージ	バスケットボールの指導補助、アスリートのケア(列に並ばせる、次の順番待ちの間のコミュニケーションなど)、練習(時間内)に関連する事務処理 (純粋なボランティアが不足しております。ファミリー以外の方と関わる機会を与えていくのもアスリートにとって大変大切なことだと思いますので、是非よろしくお願いします。)
その他注意事項	

## #2-3

プログラム名	バスケットボール(代々木会場)
会場名	オリンピック記念青少年総合センター(スポーツ棟)
主任コーチ	1組 諏訪なほみ、2組 竹内 稔
マネージャー	1組、2組 諏訪なほみ
参加アスリート数	登録者 約70人
年齢構成	小学生(約15人)、中学生(約15人)、高校生(約20人)、社会人(約30人)
ボランティア数	約 20人 (うちファミリーが約 5人) 毎回約10人参加
年齢構成	大学生以下(約 10人)、社会人・主婦(約 7人)、シニア(約 3人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	練習開始から終了までアスリートと一緒に練習。 アスリートへの声かけやサポート、ゲームではチームのメンバーとして行動。
競技指導のやり方	主任コーチの指示によりアスリートのレベルに合わせた指導。ランニング、フットワーク、ストレッチング、ボールハンドリング、パス、ドリブル、シュート、ミニゲームなどを行なう。2組の練習はかなりハードである。 1組は小中学生が中心で低いゴールを使用し、2組は高校生以上で通常のゴールを使う。
既存ボランティアの競技レベル	企業からのボランティアには未経験者も参加するが、ほとんどはバスケット経験者やプレーヤーだった人。
既存ボランティアの参加頻度	主なコーチ5~6名は全日程出席、半分3分の1の出席者が多い
希望するボランティアの経験レベル	2組の練習にはバスケット経験者が望ましいが、バスケットが好きであり、積極的に行動できる人が望ましい。
ボランティアに希望するシヨブ、メッセージ	根気よく、繰り返して練習するが、アスリートをよく観察して小さな進歩、上達を見逃さないでほめることが大切。そのためにはできるだけ継続して参加してほしい。
その他注意事項(服装など)	バスケットにふさわしい服装(短パンでもジーンズは不可)、靴は必ずしもバスケットシューズでなくてもよいが、底の厚い紐靴が望ましい。

## #2-4

プログラム名	バスケットボール
会場名	世田谷(ウェルサンピア東京 旧厚生年金スポーツセンター)
主任コーチ	湯浅 泉、副主任:小谷 洪司
マネージャー	根岸 眞子
ボランティア担当	小谷 洪司
参加アスリート数	登録者約 21人 (うち重度障害0人)
年齢構成	小学生(約 5人)、中学生(約 6人)、高校生(約 2人)、社会人(約 8人)
ボランティア数	約13人 (うちファミリーが約 0人) 毎回約 8人参加出席ファミリーは全員ファミリーボランティアの意識をもっています
年齢構成	大学生以下(約 1人)、社会人・主婦(約 7人)、シニア(約 5人)

アスリートとボランティアの触れ合い状況	最初のエールから、ランニング、ストレッチ、プレイ、ゲーム、最後のエールまで、すべて一緒です。
競技指導のやり方	一緒に競技をやりながら、眼についた点をほめる、なおすの指導をします。ゲームでは黒子として一人のアスリートに一人のボランティアがつくこともあります。競技(練習)の内容はボールハンドリング、ドリブル、パス、シュート、ゲーム(アスリートとボランティアで5人組とする)
既存ボランティアの競技レベル	指導者レベル 全員
既存ボランティアの参加頻度	1回当たりの平均参加数 コーチ6~8 ボランティア2(企業ボランティア含む)
希望するボランティアの経験レベル	中・高の授業でバスケットボールは経験しているでしょうから、競技レベルは問題にしています。
ボランティアに希望するジョブ、メッセージ	一緒に練習を楽しんでくれれば結構です。
その他注意事項(服装など)	当然ですが、バスケの出来る服装(靴はバスケシューズでなくて大丈夫です。)

## #2-5

プログラム名	バスケットボール
会場名	杉並
主任コーチ	丸山 久美子
マネージャー	小澤 眞吾
参加アスリート数	小学生(約4人)、中学生(約6人)、高校生(約7人)、社会人(約8人)
年齢構成	登録者 約39人 参加者 約25人
ボランティア数	認定コーチ約11人(うちファミリーが約4人) 毎回約 8人参加、他にファミリー毎回約12人参加、ボランティア約3人毎回参加
年齢構成	社会人・主婦(約 23人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	すべての練習種目に参加し、アスリートへのサポートを行うアスリートにとって、良い見本であり、良き練習仲間であること
競技指導のやり方	ランニング、ストレッチ、フットワーク、その後、レベルに分かれて、ドリブル、パス、シュートなどの練習。ジュニアレベルでは1vs1でアスリートとパスをしたりするので、たくさんのボランティアを必要としています。最後に、アスリートにボランティア、コーチが混ざってチームを作り、楽しくゲームを行う。
既存ボランティアの競技レベル	バスケットボール指導経験者 1人、バスケットボール競技経験者 8人、未経験のファミリー 多数、経験有りのボランティア5名。
既存ボランティアの参加頻度	2/3以上の参加が10人、それ以下 3人
希望するボランティアの経験レベル	スポーツ経験があり、積極的に練習に参加してくれる人。バスケットボール競技未経験者も大歓迎です。経験が少しでもあれば助かります。最近、若い女性ボランティア3名(経験多少有り)が参加してくれて、練習に活気が出てきました。
ボランティアに希望するジョブ、メッセージ	継続して、練習に参加すること。バスケットボール競技経験を生かすことのできる人。
その他注意事項(服装など)	アスリート・ファーストを常に念頭に置き、無理のないプレーを心がけてください。体育館履き、運動のできる服装着用(ジーンズ不可) 十分な準備運動、十分な水分補給

## #2-6

プログラム名	バスケットボール
会場名	目黒
主任コーチ	上谷 富彦

マネージャー	小谷 浩司
参加アスリート数	登録者約20人 (うち重度障害0人)
年齢構成	小学生(約1人)、中学生(約5人)、高校生(約4人)、社会人(約10人)
ボランティア数	約10人 (うちファミリーが約1人) 毎回約 5人参加
年齢構成	大学生以下(約 0人)、社会人・主婦(約 7人)、シニア(約 3人)
アスリートとボランティアの触れ合い状況	最初にコーチからアスリート、ボランティア、ファミリー全員に、練習の目標、連絡事項などを説明した上で、一緒にエールを掛けて練習します。
競技指導のやり方	練習内容はランニング、ストレッチ、フットワークから始まり、レベルに分けてパス、ドリブル、シュートなどの基本からゲーム形式の練習まで。
既存ボランティアの競技レベル	バスケットボール指導経験者1名、他は競技経験者。
既存ボランティアの参加頻度	半数常時は参加。
希望するボランティアの経験レベル	学校の授業でバスケットボールをされているので、競技経験は問わない。
ボランティアに希望すること、メッセージ	アスリートと一緒に運動し、楽しんでいただける方。
その他注意事項服装など	運動が出来る服装と靴(バスケットシューズには拘らない)